人類が消えた世界

著者名	アラン・ワイズマン	発行年	2008年
出版社名	早川書房	ページ数	385ページ
値段	2,000円	ISDN	978-4-15-208918-2
コメント	THE WORLD WITHOUT US――そんなもの、考えてどうするの？ これがすてきにおもしろい思考実験になる。 人類がいなくなれば、地球は人類登場直前の動植物の楽園に戻るかというと……否。生態系は不可逆。マンモスもマストドンも、もう戻らない。では、人類という重石が消えたあと、どんな動植物が我が世の春を謳歌することとなるのか。コヨーテ？ニワウルシ？？ たとえばプラスチックは永遠なり、なのか？　さらさらさらさら、海流に洗われたプラスチックは、今、砂粒のように細かくなって海の墓場に溜まりつつある。地質学的な永い永い時が経てば、隆起と圧迫によって太古の樹木が石油に変化したような別の物質への変化が起きる……かもしれない。 じゃあ、核汚染物質は？ 人類の不在を考えるということは、今の地球上で人類が占めている場所の大きさや輪郭を考えてみることと同じ。だから世界史パートのラストに置きました。ちょっと読みにくい、ごっつい本なので、リスみたいに部分的にかじるのがオススメです。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ちゃんゆう ☆	単なる思考実験ではなく、現地に足を運んで取材して書いているため、一つひとつのエピソードはリアルで興味深い。この線で押せばノンフィクションとしてもっとすっきりしたものになったと思うが、人類対地球、という対決の構図が観念的でリアリティに欠ける。 産児制限をして100年後に人間の数が産業革命以前に戻れば環境問題は解決する、という。解決すると誰がうれしいのか。森の木や山や川が喜ぶわけではなく、喜ぶのは「人間」であろう。環境問題は人間にとっての問題である。人間が存在しなければ環境問題はそもそも存在しない。そこがいちばん、しっくりこなかった。			
	全部	385P (400分)		2009/02/20 20:30:45
ベル ☆☆☆	最初かなりひきつけられる。 最後のほうの人類を減らす方法のところはリアルでちょっとこわい。			
	1-15,343-401	73P (30分)		2009/02/18 22:44:23
joker ☆☆	容易に考え付くが、やはりこのテーマ自体は面白い。 ただ、自分で妄想しているほうが楽しいかも。内容の掘り下げ方がそれほど深くないように感じてしまった。 きちんと根拠を追って、もっとストイックにやったら面白いと思う。哲学者とシンクタンク、学生もおばちゃんも、みんなで一緒に考えたらきっと面白い。笑			
	1-385	385P (180分)		2009/02/16 14:45:07
yatta ☆☆	最初タイトルに惹かれて借りてみたものの、読み始めてみると、自分が想像していた内容と進み方が違って残念。さらに、人類がいなくなった世界のことを空想しているが、自分が思うに、人類がいなくなったら、道路や建物といった人類しか使わないものがどうなろうとも関係ないと思うので、植物などに浸食されたとして、「だからどうした？」というのが自分の感想だった。			
	1-68	68P (50分)	ないです	2009/02/16 09:35:45
ヒトラー ☆☆☆	未来予測なんだし意外性がもっとほしかった。 最初のカラーイラストが一番。			

	1-254	254P (150分)		2009/02/16 09:28:51

evolv ☆☆☆	いやもう期待を裏切られたって感じですよ。 最初のカラーでの人類がいなくなってからだんだんと起こる現象。それをとてもドラマチックに書いているんだろうなと、想像力をかき立てられるようなイラスト。 イラストがよすぎて中身とのギャップにがっかり。小説にしたら売れそうな気がする・・・。			
	1-26，143-162，402-439	84P (40分)	最初のカラー	2009/02/14 01:53:15

ri-si- ☆☆☆	現在のエコはほとんど二酸化炭素のことしか議論されてないが、この本では人類が生み出した過去にない新しい物質がどれほど地球に影響を与えているかを考えている点がいい視点だと思いました。			
	17-401	385P (200分)	あとがき	2009/02/09 10:26:11

besevener ☆☆	もっとストイックに語ってほしかった。			
	1-136	136P (120分)		2009/02/09 07:58:35

上場亮 ☆☆☆☆	うーんって感じでした。いまいちリアリティに欠ける感じです。			
	1-100	100P (60分)		2009/01/26 21:44:45

前田 ☆	挿絵の面白さに惹かれて読むも正直期待外れ 小説的な感じだと思っていたので途中で読む気が失せた ちゃんと読めば面白いのかもしれないけど			
	1-97	97P (100分)	1-13	2009/01/22 10:58:02

heat-active ☆☆☆☆	人間のいなくなった後どうなっていくのかということが、現場の人間の想像も踏まえて細かく書かれていたのでおもしろかった。中身はノンフィクションだけあって現実的だけど、環境問題について理解したい人にはぜひお勧めします。			
	143-217,255-281	102P (50分)	冒頭のカラー図	2009/01/08 21:09:58

!? ☆☆☆	意外性があんまり…			
	142-252	110P (130分)		2008/12/08 15:28:23

弟子 ☆☆	「さてそろそろ人類は死滅したかな」とおもって第4部から読み始めました。 カラーの絵に興味をもって読んでみたので中身の文章としては期待はずれかも。私が読み始めたところはどうやらまだ人類は絶滅していなくて「どうやったら人類を絶滅できるでしょうか」みたいな話題だったので読む気が失せました			
	343-373	31P (10分)	カラー	2008/11/04 01:59:17

so ☆☆	もっとスケールがでかいかと思ってたから、微妙だった。			
	255-282ページ	27P (100分)		2008/10/21 13:01:54

ＴＯＰへ

地図に見る日本

著者名	海野一隆	発行年	1999年
出版社名	大修館書店	ページ数	194ページ
値段	2,600円	ISDN	978-4469232042
コメント	半分だけだったり逆立ちしてたり、奇想天外な日本認識コレクション。すべて見開きの右が地図、左がコンパクトな説明なので、展覧会気分で見て回れる。なぜか近代になって正確になるほど、つまらなく見えてくるから不思議。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ちゃんゆう ☆☆☆	日本が世界からどのように見られていたかを当時の地図を使用しながら検証していったユニークで貴重な書籍でした。 見開き2頁で1つの地図についてまとめられています。右には当時の地図、左には解説があり、倭国・ジパング・大日本という大きな括りでそれぞれの時代に作成された地図（世界地図の部分）を載せていますので、今の地図とは相当異なっていますが、それがまた当時の世界における日本観を如実に表わしています。			
	全部	194P (150分)		2009/02/20 20:48:30
反社会性人格者 ☆☆☆	「どうしてそうなんねん！」と思わず叫びたくなる地図ばかりだが、外国人が描いた日本の地図の正確さというのは、要は外国人の日本への関心度を表しているのだと言える。 更に言えば、初期段階では日本の大きさも関心度を測るメジャーの一つだろう。 だが、P32の地図は古人なりのギャグだと信じたい。			
	3-45	43P (20分)	P32	2009/02/19 22:33:57
uk ☆☆☆	地図 人々によっていろいろな見方があるのだから基準がなければいろいろな地図があって当然である。			
	1-96	96P (50分)		2009/02/19 22:16:40
ketume ☆☆	パラパラとめくるだけでも変化がわかり面白いと思う。			
	3-45	43P (15分)		2009/02/19 13:42:28
joker ☆☆☆	ふと思った。 昔の人々はみたことない、測ることも困難なことに対して、必死で知恵を振り絞って立ち向かった。それが、いまでは面白いものとして鑑賞の対象になりうる。 将来、経済や都市計画、歴史なんかもちゃんと“測れる”ようになったとしたら、いま私たちの学んでいることは彼らからすれば非常に滑稽で面白いだろう。笑 でも、そこにエッセンスがある気がする。思いを寄せて、ちゃんと向き合い考えることから、きっと進歩は生まれる。			
	1－194	194P (80分)		2009/02/16 14:38:42
ヒトラー ☆☆☆☆	想像で地図を描くのは地図と言えるか疑問だけど、楽しかった。			
	1-96	96P (60分)		2009/02/15 22:38:28

evolv ☆☆☆☆	日本の扱いがひどいが第一印象。アメリカは日本をどれだけでかいと思っていたんだとか、日本人もそこに海はないって誰かつっこめよという見れば見るほど不思議な地図たち。 懐かしくもある地図を見て、やっぱり双六だなと思った本。			
	1-194	194P (60分)	前半	2009/02/14 03:48:13
BLOWIN' ☆☆☆	地図の測定法がしっかりしていない時代の地図というものは思想や考え方がいろいろと加味されていて、興味深いものであった。			
	3-145ページ	143P (200分)	99-145	2009/02/13 14:47:38
&ＤＯ ☆☆☆	昔の地図のほうが人の想像や主観が入っていて面白い			
	1-140	140P (60分)	1-50	2009/02/06 05:17:46
TAK ☆☆☆	ネットが家でつながらないので学校から大量アップ、第５弾です！ 授業で扱った日本の地図。昔の人間って、適当だったんだなーって思う。 今、あたりまえだと思っていることも、５００年後には全部ひっくり返されていたりするのかな。			
	1-145	144P (60分)		2009/02/01 15:58:06
heat-active ☆☆☆	日本がまさか南北逆に描かれているとは驚いた。この本をめくっていくとどのようにして日本地図が発展してきたかがよくわかる。			
	3-45ページ	43P (20分)	パラパラとめくるだけでも	2009/01/28 22:58:52
snsk ☆☆☆	現在の完成系を知っているととても滑稽な地図に思えるが、 ハラノムシと同じように、地図も当時の人々の感覚や考え方をとてもよく反映しているなと思った。			
	1-194	194P (60分)		2009/01/27 15:10:18
☆ ☆☆☆	この本は授業でも取り上げていたが、地図が今の形になるまでは人々は地形に対しての認識がかなりアバウトだったんだと実感した。あるはずのものがあったり、ないものがあったりと船に乗っているだけでは正しく認識するのは難しいんだと思った。			
	1-87ページ	87P (60分)		2009/01/26 23:26:06
funza ☆☆☆☆	地図は当時の人の意識を反映していることがよく分かる。 江戸の日本を斜めから俯瞰した地図がいかしていた。 構成が、地図の紹介のみなのでパーっと読んでしまったが、授業の時に解説されるとまた違った印象をもった。			
	1－194	194P (30分)		2009/01/20 13:14:44
yatta ☆☆☆	観測なしで想像でこのような地図を作ることで、古の人々は何をしようとしたのだろうか？			
	1-17	17P (10分)	12-13	2009/01/20 12:38:19
弟子 ☆☆☆☆	同じ速度で歩いても、行きは三日、帰りは五日、行きと帰りでかかる時間は違うもの。 昔々の日本なんてそんなものだと思う。距離とはあくまで自分を中心とした相対的なものであり、時と場合で著しく変化して、あんまし意味を成さないものである。だから地図も、街と道とを書けばそれで万事よかった。その間の距離は、個人によって全く別のものであったから、書き入れようが無かったのかもしれない。 そうやって思って地図をはじめから眺めていくと、伊能図がいかに異常であるかがわかる。			
	1-145	145P (0分)		2009/01/19 02:18:51
ザルカヴァ ☆☆☆☆	カラフトの話。間宮、シーボルトなどが登場。地名などには、読み間違いや勘違いから名づけられたものがちょいちょいあるという驚きの事実を知った。			
	147-195	48P (20分)		2009/01/04 00:36:00
monkiti ☆☆☆	日本という国が中国にとってどんな存在だったかが窺える。 九州が一番北にあるなんて。			
	1-96	96P (40分)		2008/12/19 16:55:09
ri-si- ☆☆☆☆	何気なく知っている日本の地図ですが実際に自分の目で見えているものだけで自分で書くとしたら・・・とても難しいだろうなって感じました。			
	1-145	145P (40分)	適当なページ	2008/12/18 06:41:47
ミニブタぽん ☆☆☆	古い順に並んでいたから、流れを追えて面白かった。地図は現在までまっすぐ近づいてきたわけじゃなく、様々な回り道をして作られてきたことがわかって、地図、深いなぁと思った。			
	1-145	145P (60分)		2008/12/16 10:10:19
takuto	地図が書かれ始めた初期の頃の日本の形がハチャメチャすぎて、時を経るごとに形が近づいてきているのが面白かった。			

☆☆☆	1－194	194P (100分)		2008/11/25 15:04:18

forex ☆☆☆	日本、ヨーロッパ、中国における日本地図の発展の変遷が実際の地図とともに記されている本でした。 地図の変遷を通して各地域の地域性のようなものがよくわかるようでした。 例えば、ヨーロッパは他の地域よりも早い段階で詳細な日本地図を完成させていたような印象を受けます。 ただ、延々と地図と紹介文が載っている構成なので冗長に感じるかもしれません。			
	1-145ページ	145P (300分)	47-94	2008/11/24 18:48:40

柴 ☆☆☆☆	少ない情報から想像によって描かれた地図は、実際の日本とはだいぶかけ離れていて面白いです。最初はどんどん読めたけどだんだん飽きてきます。			
	6-131	126P (100分)	7-45	2008/10/22 09:59:14

ＴＯＰへ

塩の道

著者名	宮本常一	発行年	1979年
出版社名	講談社学術文庫	ページ数	192ページ
値段	800円	ISDN	978-4061586772
コメント	問：あなたは海辺の民。たくさんできた塩を山の民のもとへと運んで売ってこようと思います。さて、牛と馬、どちらで運びますか？ 答：牛 理由：本書　56-59ページ 炉端の古老の昔語りを聞くように、古い日本の生活の断片がゆかしく蘇ってくる。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
uk ☆☆	塩分は人間にとって必要不可欠なものである。 だがここに書かれている内容ははたして自分にとって必要なものであろうか。			
	14-36	23P (30分)		2009/02/19 22:19:56
反社会性人格者 ☆☆	塩を運ぶ、生産するにおいて重要な要素は何も塩そのものの性質だけではない。 砂糖の世界史にもあったように、食物とりわけ調味料には地域ごとの用途のや生産の仕方の違いがある。 それを踏まえた上で砂糖や他の調味料との決定的な違いが発見できれば幸運かもしれない。 残念ながら私はすべて読む前に挫折した。			
	1-60	60P (20分)	56-60	2009/02/19 13:12:54
ベル ☆☆☆	優しく語ってもらってる感じ。 塩をめぐって地域によって形の異なる文化があったことはおもしろかった。			
	14-46	33P (5分)		2009/02/19 10:44:57
takuto ☆☆	題名がシンプルで読みやすそうなので手に取ったが途中で飽きてしまった。			
	１－６０	60P (60分)		2009/02/19 10:44:01
Karagounis fan ☆	似たようなタイトルのジャガイモの来た道のほうがずっと面白かった。 ジャガイモのほうが壮絶な道のりでした。 後半、塩関係あったのかな？			
	13-82,169-195	107P (60分)	18-19	2009/02/16 20:42:15
ヒトラー ☆☆	村を歩き回り日本人の生きる姿を描写した主人公の生き方もかっこいいです。			
	13-82	70P (60分)		2009/02/15 21:53:56
kazuki ☆☆☆	塩分が好きな人にはいいんじゃないですか。 成人病に気をつけて。　関係ないか			
	14-36	23P (15分)		2009/02/15 16:40:53

yatta ☆☆☆	塩の道というタイトルと、ここに書いてあるコメントから、塩の運び方がこの本のメインだと思うのだが、あえて塩の製造法までで読むのをやめてみた。将来塩を自分で作ってみたい人は、とりあえずこの部分を読めば大丈夫です。			
	20-36	17P (14分)	36-39	2009/02/12 11:46:48

funza ☆☆	みんなのコメントが面白くて、読んでみました。 塩について詳しくなれた・・・気がする。面白くはないです。			
	1－49	49P (60分)		2009/02/07 16:32:22

下阪神 ☆☆	タイトルに惹かれて読んでみたが、自分には興味がわかない内容だった。 タイトルで読者をひきつけるという点では〇かな。			
	14-36	23P (30分)		2009/01/26 18:10:47

ap ☆☆	電車の中で流し読みしながら、さらっと読めました。 でもあまり興味はひかれなかったです。			
	14-204	190P (180分)		2009/01/20 01:04:28

&ＤＯ ☆☆	塩には詳しくなれる　それだけ			
	1-149	149P (60分)	35-50	2009/01/13 12:39:52

弟子 ☆☆☆	脱線具合がちょうどいい、ふらふらあてもなく解説を続けるおしゃべり上手な教科書みたいな本。でも途中から好き勝手に話されるから相槌を打つのが疲れてくる本。適度に切り上げるが吉。			
	14-149	136P (40分)	p138	2008/12/18 01:38:48

うみねこ ☆☆☆	高校のときから、歴史の文化史は大嫌いでしたが、これだけ一つのことを詳しく見せられるとそれなりに興味がもてました。			
	1-19,151-205	74P (60分)		2008/12/08 20:25:28

DNA ☆☆	面白みを期待した私がバカでした			
	1-54	54P (20分)		2008/11/22 00:50:45

マシュ ☆☆	塩は神として祭られたことがないのは、塩自身がエネルギーになるものではないからというのはなるほどと思った。			
	14-36	23P (15分)		2008/11/18 12:10:37

david wright ☆☆☆	よくわからなかった			
	1-10	10P (5分)		2008/11/11 00:29:03

柴 ☆☆☆	口調が優しくて文字が大きいので、あまり興味はなかったけど読み終えてしまった。塩の道も奥が深い。			
	14-205	192P (200分)	Ｉ塩の道	2008/11/09 10:47:17

ri-si- ☆☆☆	この部分は日本の食料に関する部分です。 本当に今の僕たちは贅沢だ！１９世紀より前のどんな偉人たちよりもいい食事を毎日してることがわかるかも！？			
	84-149	65P (30分)	148-149	2008/11/05 03:07:33

kate ☆☆☆☆	昔の日本人がどうやって塩を手に入れてたかがよくわかる本。それにしても木を切って川に流すとは大胆だ…			
	1-192	192P (100分)		2008/11/04 08:45:42

kate ☆☆☆☆	昔の日本人がどうやって塩を手に入れてたかがよくわかる本。それにしても木を切って川に流すとは大胆だ…			
	1-192	192P (100分)		2008/11/04 08:45:42

非食用もやし ☆☆☆	塩の生産方法、普及の歴史が書かれた本。 とても専門的だったので、高血圧になる前に読むのをやめました。			
	1-46	46P (40分)		2008/10/31 21:02:21

chor ☆☆☆	著者の「忘れられた日本人」同様のやわらかい文体。 食をめぐる生活史によって歴史を考える視点がおもしろい			
	14-149ページ	135P (60分)	95-108ページ	2008/10/19 21:40:07

自由教育 ☆☆	塩の道筋だけでなく、日本の人々が口にしてきた様々な食べ物の道筋が語られている。米、いも、トウモロコシ、ソバ、タコなど。昔の人々の暮らしを伺い知ることができた。		
	14-60、83-149ページ	114P (75分)	2008/10/17 10:27:50

ＴＯＰへ

戦国時代のハラノムシ

著者名	長野仁・東昇	発行年	2007年
出版社名	国書刊行会	ページ数	97ページ
値段	1,000円	ISDN	978-4336048462
コメント	戦国時代、病気は虫の形をしていた。鍼（はり）という武器をかざして奇天烈なモンスターに立ち向かった人々の心意気を感じつつ、とりあえず愛敬たっぷりのこいつらに爆笑。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
uk ☆☆	食事後などに読むのはやめといたほうがいいと思います。			
	1-50	50P (20分)		2009/02/19 22:29:19
chicken-run ☆☆☆	授業で取り上げられた本でもあるので、スラスラ読むことができた。 しかし、残念なことにこの本には内容が無かった。			
	全部	97P (20分)		2009/02/19 12:31:18
☆ ☆☆☆	レントゲンもMRIもない時代、人々は体の変調に対していろいろな想像を膨らませていたんだと思った。現代よりも想像力が豊かな世の中だったのではないかと思った。			
	1-54ページ	54P (50分)		2009/02/19 01:01:29
かける ☆☆	楽しい絵だと思う。 僕の解釈は、昔の人はこの虫たちの存在を信じているのではなく彼らの娯楽の部類だということ。少なくともこの絵を描いたひとは自分の創造であることを知っている。			
	ぜんぶ	97P (30分)		2009/02/17 15:25:26
ヒトラー ☆☆	最初外見に興味をひかれたけど、残念。 内容薄かった。			
	1-97	97P (15分)		2009/02/15 19:53:48
evolv ☆☆☆☆	あまりにも簡単に読めてしまう。 この本を読みながらちゃんと手洗いとかしないとこんな虫が住み着くんだぞって教えながら子供に本を読めば、たぶんちゃんと手洗いうがいをするだろうな。 しかし、私のように怪物が小さいときから好きな子供は逆に飼ってみたいと思ってうがいをしなくなるかも知れないか。 戦国時代の人は何を思って虫という表現をしたのだろうか。			
	1-97	97P (10分)	全部読める	2009/02/14 03:39:37
monkiti ☆☆☆	今見るとユーモアあふれる漫画のように見えてしまうが、もし自分が、その時代にいたら、たぶん信じてたんだろうなーと感じる。			
	8-84	76P (15分)		2009/02/08 02:57:32

＆ＤＯ ☆☆☆	まず虫ってのがおかしい 信じればなんでもありなんだなと思った			
	1-76	76P (30分)		2009/02/06 05:20:18
TAK ☆☆☆	イヤー、全然非論理的でしょ。 今の時代からみると、当時の人たちは幸せですね。			
	1-105	104P (60分)		2009/02/01 15:42:29
!? ☆☆	こういう系はちょっときついです。			
	1-76	76P (30分)		2009/01/28 11:27:05
BLOWIN' ☆☆☆☆☆	これ、やっぱり面白いです。「本当はこんなムシなんていないんだ。」なんて言っても当時の人達はきっと信じてくれないでしょうね。だってこんなに個性的でステキなムシ達がいると信じこんでるんですから。			
	1-105ページ	105P (100分)	82-101ページ	2009/01/27 16:55:01
DNA ☆☆☆	授業でやってたのを思い出せて面白かった。			
	1-97	97P (30分)		2009/01/27 15:26:15
上場亮 ☆☆☆☆	昔の考えは今にしてみたらばかばかしいのだが、 本気で考えていたことを感じると興味深い本になると思う。			
	ぜんぶ	97P (120分)		2009/01/26 21:31:32
yatta ☆☆☆	昔の人が病気の原因を虫のせいにしていたのは、あながち間違いではないのかもしれないですね。			
	8-15	8P (5分)	特になし	2009/01/20 16:59:22
弟子 ☆☆☆	ムシはどうでもいいが、木香が万能薬すぎるのがいただけない。			
	8-77	70P (0分)		2009/01/19 02:04:38
snsk ☆☆☆	見てたら授業でやった発表を思い出してちょっと面白かった。 昔はこんな風に病気を虫にたとえて視覚化してたんだなと思うとなんだか不思議。でもこの方が病気のイメージが伝わりやすい気もした。			
	1-95	95P (30分)		2009/01/14 23:37:16
クマー ☆☆☆☆☆	見てるだけで具合が悪くなってきそう…。			
	1-105	97P (15分)	100-101	2009/01/14 18:21:22
heat-active ☆☆☆☆	これらのムシが戦国時代に信じられていたとは驚いた。 ちなみに人形もなかなかイケてる。			
	7-105ページ	97P (50分)	解説以外ならどこでも	2008/12/27 00:51:55
・・・からお越しの ☆☆☆☆☆	一度授業でやったやつなのでとっつきやすかったです。 やはり、目に見えない恐怖でも感じていたんでしょうか。 立ち読みポイントは、ただ左上の図がシュールっていうこと。			
	1-84	84P (40分)	83	2008/12/09 00:59:58
ap ☆☆☆	授業では意味がわからなかったとこが、やっとわかりました。 病気を虫であらわしてたのは面白いけど、絵はキモカワイイというより、気持ち悪かったです。			
	1-81ページ	81P (30分)		2008/11/30 22:52:26
宅急便 ☆☆☆	ムシたちに何故か性格づけまでされていたりするのが面白い。			
	1-76	76P (30分)		2008/11/28 10:22:28
ミニブタぽん ☆☆☆	様々な空想の虫を作り出す戦国時代の人々は、現代から見ると滑稽に見える。だが、当時は大きな恐怖であったであろう病気という存在、その原因を真剣に悩んで考え出したのがこのハラノムシなんだと思う。			
	1-76	76P (30分)		2008/11/19 19:07:32
david wright ☆☆☆	面白い絵だった			
	1-99	99P (45分)		2008/11/16 21:02:32
Ian ☆☆☆	戦国時代の人はこのような虫がいることを信じていたのだろうか？もしそうならそれはもの凄い恐怖だったと思う。			

	1-76	76P (30分)	絵	2008/11/14 00:37:41

マシュ ☆☆☆	戦国時代のエリートの医者が、病気などはこのような虫が引き起こしていると信じていて薬草などの治療法なども書いてあるのは面白かった。			
	1-76	76P (30分)		2008/11/14 00:35:33

ザルカヴァ ☆☆☆	他の授業でも紹介されていたので、読んでみました。全体的に絵本みたいな感覚。治療法は口づてに教えるとか書いてあってあまり役に立たない。			
	1-76	76P (20分)		2008/10/19 21:04:48

ＴＯＰへ

雑兵たちの戦場

著者名	藤木久志	発行年	2005年
出版社名	朝日新聞社	ページ数	279ページ
値段	1,300円	ISDN	978-4-02-259877-6
コメント	アフリカのどこかですか？ いや。ニッポンの戦国時代の凄惨なダークサイドが綿密な史料考証に基づいて、じわじわと浮かび上がる。 「人取り」は奴隷狩り、「山あがり」は耕作放棄、「コカクセイ」は拉致されてきた朝鮮人少女たち。史料上の語句をひとつひとつ同定しつつ解析してゆく学究の文章は、地味だけれど、確かな裏付けのあることしか言うまいという静かな決意に満ちている。その営為の果てに、人身売買や略奪強盗は一部の乱暴者のしわざなどではなく、戦国社会を支える「サバイバル・システム」、すなわち、しっかり社会の土台を構成していたのだという瞠目の結論に至る。 歴史研究とは、こうしたもの。その飾り気のない、みごとな好例。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
反社会性人格者 ☆☆	非常に読み辛い・・・。 しかし、乱取りを事実上認めながら大っぴらに手柄として賞賛しない点に現代の政治に通ずるものがあると感じた。			
	15-52	28P (20分)	乱取りについて	2009/02/19 22:00:57
kazuki ☆☆	平和主義者の自分にはつらい。 あと、単純に読みにくい。			
	3-43	40P (30分)		2009/02/16 14:43:30
evolv ☆☆	今回ここまできて初のギブアップブック。 だって古典は好きじゃないんだもん。戦国時代は上杉と武田のすばらしい戦いを嘘だとしても信じたいじゃないか。のぼうの城をおもしろいと思ったらこっちはノータッチですね。			
	1-38	38P (20分)	なし	2009/02/14 01:57:08
yatta ☆	古典が苦手な自分としては、けっこう読みにくい文章だった。 文中に出てくる古文からの引用の現代語訳をきちんとつけてほしかった。			
	1-75	75P (50分)	なし	2009/02/12 15:53:36
弟子 ☆☆☆☆	『この本を読んだ人はこんな本も読んでいます』 →No27　戦争広告代理人 →No32　アフリカ・レポート →No40　ルポ　貧困大国アメリカ 年貢という『保険金』を支払わなければ、安全さえも手に入らない。			
	3-92,183-202	110P (30分)	183-	2009/01/19 03:01:22

chicken-run ☆☆☆☆	この本には、勇猛な武将の痛快な英雄譚や、血湧き肉躍る合戦風景などは書いてありません。 この本にかいてあるのは、戦国時代の人でもご飯を食べなければおなかがすいて死んでしまうし、抑制するものがなければ、人はどんな悪いことでも際限なくしちゃうんだよ、ということです。 こんな世紀末な状態から、天下太平を段階的に築き上げた信長、秀吉、家康は本当にすごいと思う。いや、マジ救世主です。			
	全部	279P (120分)		2009/01/13 11:10:01

monkiti ☆☆☆☆	有名な武将が活躍し、かっこいいイメージがある戦国時代の戦についての見方が一変する本だと思う。			
	1-170	170P (120分)	95-100	2008/11/04 09:44:55

ri-si- ☆☆☆☆	戦国時代と言えばを・・・信長や秀吉！？ そんな人たちをイメージする人が多いと思いますが、それは今で言うと国会議員だけにスポットあてているだけだと思います。そんな中この本は昔も必ずいたであろう一般の人にスポットをあてているところが面白い。 さらに、なぜあの時代戦争をしなければならなかったのか、大河ドラマには映らない姿が見えると思います。			
	1-279	279P (60分)	最初	2008/10/20 11:10:41

ＴＯＰへ

ヨーロッパに消えたサムライたち

著者名	太田尚樹	発行年	1999年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	316ページ
値段	780円	ISDN	978-4480422958
コメント	昔、支倉常長という侍がいた。仙台からメキシコを経てスペインへ。主君に命じられて大航海を敢行した。苦労は実らなかった。しかしスペインには一行の子孫と信ずるハポン姓の人びとが今も暮らす。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ちゃんゆう ☆☆☆	伊達政宗が送った支倉常長遣欧使節の出発から帰国までを中心に、その旅路を追った書籍です。本書のタイトルは帰国せずにヨーロッパに残った人物がいることに由来したものです。 ヨーロッパでの使節団の心境など、著者の推測に過ぎないいささか根拠の薄い部分などもありますが、現地に残された当時の文書を調査した結果に基づく内容は大変興味深いものです。 また、ヨーロッパに残った人物の遠い末裔が今もスペインで暮らしているという話も非常に興味深いものです。			
	全部	316P (300分)		2009/02/20 20:53:18
弟子 ☆☆☆	江戸幕府の鎖国という政策の裏側にこめた意味、鎖国といいつつも常に海外に視野を向け続けた幕府の思い、その構図を利用して未知の大陸に思いをはせる者、新たな領地のために日本に乗り込んでくる者、成り行きを監視する者、そういった、それぞれの思案が絡まっていくので、あんまし濫読向きではないかも。			
	29-67	39P (0分)		2009/02/20 06:12:15
継承者 ☆☆	ちょっと想像していた内容と違った。 こういう歴史的な話は苦手なので、そういう人は敬遠してもいいかも。			
	1-10	10P (10分)		2009/02/18 14:18:41
Karagounis fan ☆☆	支倉六右衛門常長は神の下僕ドン・フィリッポ・フランシスコ・ハセクラになったということしかいまいちわかりませんでした。			
	29-43,111-184	89P (45分)	174	2009/02/16 15:17:12
yatta ☆☆☆	伊達政宗の支倉常長遣欧使節団に関する伊達政宗、幕府、宣教師たちのそれぞれの思惑が、ここの部分を読めばわかると思います。機会があれば、より詳細に歴史背景をしりたので、精読してみたいです。			
	58-67	10P (10分)	58-67	2009/02/11 21:18:24
ザルカヴァ ☆☆	目次をのドン・フィリッポ・フランシスコ・ハセクラという章にひかれて読んでみた。しかし、途中から読んでも良くわからなかった。題材や文は読みやすかったので、時間があるときに、一気に読んでみたい。			
	127-140	14P (10分)		2009/01/04 00:32:13
自由教育 ☆☆☆	支倉常長一行の欧米への旅路を歴史資料を基に語った作品。想像力を働かせて当時の様子を思い浮かべると面白いかもしれない。余談であるが、渡航を終えて日本に戻ってきた後の支倉常長が、伊坂幸太郎作の「オーデュボンの祈り」という本に出てくる。フィクションであるが、歴史的事実の基づいてそれらしく書かれているので、サムライたちの話を読んだ後に、読むと面白いかもしれない。			
	7-109ページ	103P (75分)		2008/10/15 23:59:47

江戸の大普請－徳川都市計画の詩学

著者名	タイモン・スクリーチ	発行年	2007年
出版社名	講談社	ページ数	263ページ
値段	1,800円	ISDN	978-4062143806
コメント	イギリス人が花のお江戸を研究して、そのユニークな視点に乗って、いろんな珍しいところへ連れて行ってくれる。品川の大仏、吉原通いの水の道。 　しかし風水に毒されすぎていないかなあ、など、ちょっとイジワルだけれど、ほんとかな？　と疑惑のまなざしで読むとおもしろい。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
たくや ☆☆☆	借りたものの、あまり興味が持てなくてほとんど読まなかったものの一つです。 本の冒頭、導入部分は読者を惹きつけるか否かを左右するみたいです。僕はそれに左右されやすいみたいです			
	冒頭	5P (10分)		2009/02/20 11:59:17
monkiti ☆☆☆	昔は「気」の流れというものから京を作っていたということを知り。そのために、細かい工夫を随所に張り巡らせて、一から京を作っていたということに魅力を感じた。そして、川や山などにも役割を担わせているのが興味深かった。さらには、身分の区別が都市計画にまで反映している点も、印象に残った。江戸の都市計画は、明らかに現在まで影響を与えているので、不思議な感じだった。			
	68-115	48P (40分)		2009/02/19 10:45:03
ヒトラー ☆☆	徳川幕府の夢がわかったがあまり読めませんでした。			
	1-66	66P (30分)		2009/02/16 09:34:46
forex ☆☆☆	この本はどうやら、街づくりの根本的な概念とも言える機能性という面を離れて、風水とか政治的な側面から江戸という街の構造を眺めているらしい。 外国人としての視点が活かされていると思った。			
	1-9	9P (30分)	なし	2009/01/24 00:00:16
ザルカヴァ ☆☆	非常に申し訳ないが、まえがきで心が折れてしまった。			
	1-9	9P (10分)		2009/01/14 21:23:08
弟子 ☆☆☆☆☆	われわれ日本人では思いつかなかったような切り口で、江戸という時代についての感想が書かれていて非常に興味深い。 やれ「家康は天下の健康を回復させた医者だったのだ！！」だの、やれ「上野の寛永寺は京都の延暦寺のパクリだったのだ！！」だの、予想もしないところからずばずばと因果関係をつれてくるあたりが爽快で楽しかった。 たしかに少々風水チックというか、中国的な思想がぬけないところもあるけれど、それもまた意外な関係性があって見所がありました。一番興味がわいたのは地名について。何気なくすごしていた東京の地名にも、以外にも地名としての意味が残っているあたりなんかは読んでいて楽しかった。お勧めの部分もまた地名に関する場所である。『江戸の正確な時刻は日本橋から発信された』の下りが江戸らしくて大好きだ。 どちらかというと、本を読むというよりは誰かの公演を聞いている感じがして、軽快に読めるところなんかは非常に面白かった。			
	16-162	147P (60分)	47-	2008/12/15 01:51:47

お家相続-大名家の苦闘

著者名	大森映子	発行年	2004年
出版社名	角川選書	ページ数	0ページ
値段	1,400円	ISDN	978-4047033689
コメント	きちんきちんと男子に恵まれるはずもないのに、制度は直系男子の相続が大前提。 　さて、この矛盾をどうする？　江戸時代のお殿様たちは、制度を変えるのではなく、タテマエとしての制度はしっかり維持しつつ、その裏側に、いろんな珍妙な切り抜け法を編み出した。年齢詐称に系図改竄、死亡日操作に替え玉提出。 　そこまでしてタテマエを守り抜いた三百年であったのだ。カチンコチンの組織が窮屈になるとハンマーでぶっ壊して次を作ろうとするヨーロッパとは異なった日本らしさが見えてくる。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
たくや ☆☆	内容にそこまで興味が持てなかったのでこのような感じで。 現代との価値観が違うので、なかなか入りづらいと思った。			
	7－69	63P (50分)		2009/02/20 11:50:56
takuto ☆☆	大名の相続に対する熱い思いを少しだけ理解できた。			
	１－５０	50P (50分)		2009/02/19 10:57:40
ヒトラー ☆☆☆	幕府の在り方に一番疑問。いつの時代も政府はどたばただ。			
	1-140	140P (120分)		2009/02/15 22:34:48
世界のニシテツ ☆☆	難しかった……			
	12-115	104P (60分)		2009/01/31 23:32:04
sweets ☆☆☆	途中で投げてしまった。			
	1-70	70P (20分)		2009/01/27 15:34:06
evolv ☆	立ち読みポイントなしには、私は今までは立ち読みするだけではもったいない作品と言うことで、なしとしてものもあるがこれは単純になし。 なんか心にこないのです。日本史とかの歴史の授業が、高校の時、苦手だった人は読まないほうがいいと思います。私も苦手だったのですがあのころを思い出すような本です。逆に好きだった方にはたまらないのかも。			
	1-44	44P (40分)	なし	2009/01/26 02:04:29
ザルカヴァ ☆☆☆	跡継ぎ問題により、系図から抹消されたり、兄弟の順番を入れ替えたり。現代を生きる自分には、そんなにするか！？と思うようなことが行われていたようだ。平和な時代二生まれて良かった。			
	71-140	70P (50分)		2009/01/23 12:10:03
heat-active ☆☆☆	お家相続のことが書いてあってなかなかおもしろかったのですが、現代にないような漢字がたくさんあり読みづらかったです。 しかし、このような制度を百年以上も建前だけでも維持したというのはすごいことだと思いました。			

	12-69,142-151ページ	68P (50分)	12-15ページ	2009/01/14 00:08:33

forex ☆☆☆	幕府の建前のようなものを守るために武家はいろいろと跡取り問題で頭を悩めたんだなと感慨深く思った。 ただ、一方でこんなにも破綻しかかってるような制度にしたのがそもそも問題だったんじゃないかと思う自分もいた。			
	1-12	12P (30分)	なし	2009/01/12 00:56:33

弟子 ☆☆	2歳3歳サバを読むのは当たり前の世界。生まれた日なんてでたらめもいいとこで、もっと酷いと死んだ日まで変えられていしまうことも。でもそこまでしてでも見栄を取り繕っておかないと武士としての名が折れてしまう、なんとも窮屈というか、滑稽というか。 今にしてみれば奇妙に思えるけれども、きっと本人達は大真面目だったに違いない。そういう風に考えさせられてしまう。			
	12-69	58P (30分)		2008/12/15 01:31:36

ketume ☆☆☆	お家相続ってそんな大事なんだ、っていうのがわかる本です。			
	11-124	114P (60分)	86-90	2008/11/30 23:47:27

＆ＤＯ ☆☆☆	地元のマイナーだと思っていた大名が水戸藩と大きくつながっており、びっくりした 無茶なルールを作って無理だからあとから無理やり横道を作るって感じだった 相続のルールをかえようと思わなかったのが不思議だ。。。			
	12-69,86-115,142-201	145P (150分)	23-31	2008/11/18 12:34:59

自由教育 ☆☆☆	江戸時代に家柄がどれだけ重視されていたかが伝わってくる。			
	71-103、141-201ページ	94P (60分)		2008/11/09 11:43:49

宅急便 ☆☆	名前やら系図やらを追っているだけで疲れてしまった。			
	7-36	30P (15分)		2008/11/01 08:24:32

chor ☆☆☆☆	公辺内分などすり替えや年齢詐称などもやっていたあたりに驚き。幕府も実は黙認していたというのも驚き			
	7-207ページ	200P (120分)	72-86ページ	2008/10/31 22:48:44

ri-si- ☆☆☆	大名家の苦労がわかるかも・・・ 例ばっかなのがびみょ～でマイナーな大名ばっかなのもびみょ～			
	11-70	60P (30分)	１１－１５	2008/10/30 01:49:13

ＴＯＰへ

- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

大江戸曲者列伝－太平の巻

著者名	野口武彦	発行年	2006年
出版社名	新潮新書	ページ数	255ページ
値段	720円	ISDN	978-4106101526
コメント	クセモノだ、出会え出会え～！ 「わらわへの直答はならぬ」と御奉行様にそっぽを向いて御白洲に座る自称日野家のお姫さま、天狗に乗って幽界へ行ってきたよと大得意で語る寅吉少年――泰平の世を思うがまま破天荒に生き抜いた、おもしろおかしい面々。 さてあなたは、どなたとお友達になりたい/なりたくないでしょうか？		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
反社会性人格者 ☆☆☆☆	一言で言えば、江戸版ゴシップ全集。 ゴシップなので読み易いが、下品且つ可笑しな話も多いので電車の中で読んではいけない			
	48-52、96-100、127-121、159-163	20P (20分)		2009/02/19 16:46:59
ヒトラー ☆☆☆	短いストーリーの連続で割と飽きずに読めた。何人か印象に残った。			
	1-85	85P (60分)		2009/02/15 22:26:56
kazuki ☆☆☆☆☆	すいません。ずっと持っているの忘れてました。 ちゃんと返します。			
	全部	248P (120分)		2009/02/15 00:40:16
besevener ☆☆☆☆	個人的に好きだった。			
	1－100	100P (60分)		2009/02/09 08:26:10
Ian ☆☆☆	いろんな人がいるんだなと思った。			
	12-68	57P (60分)		2009/01/30 21:29:05
evolv ☆☆☆☆	久しぶりの読む価値目次！これほどいい目次は最悪な事故以来だね。この本の結末もアレといっしょになりそうだが・・・。 それにしても、是非自分の気に入ったタイトルに本を開いて読んでみて欲しい。きっとあなたもダマされるから。上にある読んだ場所は、私が期待して裏切られたページである。是非読んで欲しい。			
	1-16、27-32、48-53、63-69、96-101、143-148、202-212	56P (35分)	目次	2009/01/26 01:56:00
非食用もやし ☆☆☆☆	ひとつの話が短くて読みやすかった。 目次から想像できたけど、ひどい話だったw			
	12-32	21P (30分)		2009/01/07 12:54:38
☆ ☆☆	昔は今よりもとんでもないことをする人がたくさんいたと思った。			
	1-45ページ	45P (25分)	目次	2008/11/30 23:33:20
heat-active ☆☆☆	目次を見ると、「こんなのあり！？」と思うような題名も入っているので気分を悪くすることも。純粋に笑えたり、感動したりというのではなく、どこか皮肉さがこめられているような中身です。個性的な人に興味があれば、読んでみるのもいいのでは。			
	1-255ページ	255P (250分)	目次	2008/11/15 23:05:29

弟子 ☆☆☆	人は誰でも一生に一冊の本が書ける、とかいったのは誰だろう。 join the majority 《多数に入る》＝鬼籍に入る、つまり死ぬということですが。 歴史と言うのはこのmajorityの積み重ね、多数の集合こそが歴史であると実感する。しかしmajorityの中には勿論minorityも存在するわけでして、そういったものはお話になる。アンネ・フランクやジャンヌ・ダルクはそういったminorityに入るべきお話であり、この本はそれらと比較するとmajorityに近いお話である。 そういう意味で、この本は非常に歴史臭い本なのかもしれない。			
	3-84	82P (30分)	シドッチ	2008/11/11 08:02:38
takuto ☆☆	漢字がいっぱいだし、わからん単語も多かった。			
	1-150	150P (100分)		2008/11/10 16:45:18
david wright ☆☆☆	インパクトがあった			
	1-255	255P (120分)		2008/11/02 23:47:03
うみねこ ☆☆	江戸時代にもいろんな人がいるんだなあ、と思った。 だけど、それ以上何か感じるものがあまりなく、この本の良さがわからなかった。			
	43-48ページ、63-74ページ	18P (20分)	63-68ページ	2008/10/29 01:34:21
自由教育 ☆☆	一度も名前を聞いたことの無い人物から、日本史で一度は耳にした事のある人物まで、様々な人物の生き様が描かれている。 人間好きの方には面白いかも。			
	11-142ページ	132P (75分)		2008/10/20 18:55:37
chor ☆☆	一人ひとりについてのページ数が非常に短く読みやすい。			
	20-100ページ	80P (40分)		2008/10/19 21:42:36

ＴＯＰへ

落語の国からのぞいてみれば

著者名	堀井憲一郎	発行年	2008年
出版社名	講談社現代新書	ページ数	202ページ
値段	740円	ISDN	978-4-06-287947-7
コメント	落語をネタに、かろやかに江戸の昔と戯れているようにみせて、ときどきずしーんと人生観や世界観を投げ込んでくるところが達人のホリイさんのスゴいところ。 死ぬ者貧乏、死んだらおしまいってこと。名前だって、てめえひとりのもんじゃない。社会的責任が果たせなくなったら、ちゃんと返すのさ。個性？　何それ。 時間は季節にあわせて伸縮自在。お天道様が出れば明け六つ。沈めば暮六つ。シンプルだろ。 ゼニとカネは厳然と違う。銭は銅貨、ふだんお世話になるもの。カネは金銀、めったに拝めないおタカラ。おタカラは遠ざけておくもんだ。間違っても手に入れようなんてしちゃいけないぜ。必ず人死にが起きるから。 結婚？　よくぞ聞いてくれた。江戸の昔に見合いも恋愛もない。年頃になれば、いやおうなく結婚するばかり。独りでいるのはイケナイことだって、みんな信じてたからね。 などと、さくりさくり歯切れのよい洞察が続く。おあとはホリイさんから直接どうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ちゃんゆう ☆☆	落語を題材にした文明批評。「死んだやつのことは忘れる」「相撲は巨大人の見世物」「恋愛は趣味でしかない」……。さまざまな落語を引用しながら、「落語の世界」の価値観を抽出し、逆に「死者は忘れてはなら」ず、「相撲はスポーツ」で「恋愛は人生に不可欠」だと考える現代社会の奇妙さをあぶりだしている。			
	全部	202P (120分)		2009/02/20 20:34:45
evolv ☆☆☆☆	今と昔はこうも違うのかということを日常生活でわからせてくれる本。それにしても落語はわからん。もとの落語の知識があれば倍おもしろいのだろうな。そのため私は満点から－1☆としておきます。			
	1-202	202P (180分)	恋愛は趣味	2009/02/20 01:15:22
besevener ☆☆☆☆☆	落語は個人的に好きだが、その背景を知れてよかった。			
	全部	202P (150分)		2009/02/09 08:12:50
下阪神 ☆☆☆	江戸時代の視点で現代を見ることはなかなか想像つかなかった。 落語という観点が非常に軽く、読みやすかった。			
	1-100	100P (80分)		2009/02/04 12:44:26
☆ ☆☆☆☆	落語を見たことはほとんどなかったため、あまりピンと来るものではなかったが、落語の世界には独特の表現があり、世界があるということを実感した。言語も少しずつ変化しているんだなと思った。			
	1-162ページ	162P (200分)	目次	2009/01/15 11:59:12
ザルカヴァ ☆☆☆☆☆	落語の話を軸に、金の話や恋の話を繰り広げる。江戸時代の感覚も知ることが出来る。話の中から学ぶことが多く、楽しみながら軽く読める。オススメです。			
	全部	202P (120分)	159-171	2009/01/04 00:41:19
TAK ☆☆	江戸時代の人の様子を今と比べていたりする内容で、あまり面白い！という発見はなかった。 13章の恋愛観は少し勉強になった。			

	9-210	202P (240分)	第7章、13章	2008/12/07 19:12:24

kate ☆☆☆	今の時代を別の視点から見れたのが新鮮だった。			
	9-116	108P (60分)		2008/11/25 15:06:46

弟子 ☆☆☆☆	オンリーワンにならなくてもよい なるほどの余裕もないので、むしろなれない 江戸時代というものをはじめて学んだのは小学校の社会科でした。年表の江戸時代は１０センチくらいの長さでした。教科書では３０ページくらいでした。徳川家康が幕府を立ててから２６０年くらい続いていることがわかりました。おしまい。 結局のところ教育というのはこんなもん。知識として必要最低限で有用な部分しか教えることはないから教えない。けれども歴史にはもちろん時代があり、文化があり、人々がいるわけで、それを素人は思わない限り知らせてはくれない。 結局のところ教育は好奇心にはかなわないかもしれない。この本を読みながらついこんなことを考えてしまった。			
	all	207P (100分)	第六章	2008/10/28 12:49:23

鍋工房 ☆☆☆	江戸の視点で現代を見ると、色々おかしいよねって話。 まぁそりゃ当然なんだけど。 個性地獄の現代に辟易している人は読んでみては。 個人的には太陰暦が羨ましいです。			
	全部	202P (160分)	十五章	2008/10/25 06:43:53

so ☆☆☆☆	飽きないで読める内容だったし、「へぇー」もあった。			
	1-24、159-215	80P (100分)	159-215	2008/10/21 13:04:27

david wright ☆☆☆	江戸時代がわかった			
	1-202	202P (120分)		2008/10/17 17:54:11

ＴＯＰへ

奇想の江戸挿絵

著者名	辻　惟雄	発行年	2008年
出版社名	集英社新書	ページ数	173ページ
値段	1,000円	ISDN	978-4-08-720440-7
コメント	風が、嵐が、爆発が、ダイナミックに画面を走る。あやかしの世界の霊たちは、すうっと薄墨で重ね刷りされ、あの世らしさをぞくりと伝える。 おそるべし江戸文化。こんなハイセンスな挿絵満載の読本と日々戯れていたなんて。 奇想には、奇想を以て対すべし。2008年前期の院生さんセッションでは、166ページの水滸伝シーンをEXILEの武道館公演と読み替えたプレゼンテーションが大ウケでした。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
chicken-run ☆☆	興味深いとは思いましたが、正直この本から学んだことは何もありません。 基本、絵に解説が少し付いてる構図なのでサクッと読めました。			
	全部	173P (30分)		2009/02/19 15:43:26
☆ ☆☆☆	私は怖い絵も読みましたが、この本は怖い絵の時代よりも新しいのにリアルさに欠けた絵が多かった。しかし、独特のタッチから出る迫力はリアルさとはまた違った魅力があり、このあたりが現代の日本の漫画ブームにつながっているのかと思った。			
	1-149ページ	149P (100分)		2009/02/19 01:15:36
継承者 ☆☆☆	授業で使った本みたい。 絵がなんか面白いので、を見て、ちょこっとそれについて読んで、で読み飛ばしていった。			
	1-100	100P (30分)		2009/02/18 14:28:15
&DO ☆☆☆	絵だからサクッと少しだけ			
	1-30	30P (10分)		2009/02/10 17:08:57
TAK ☆☆☆☆	授業で扱ったものだけど、気持ち悪面白いです！ 絵が多くて楽に読めますｖ（＾－＾）			
	1-163	162P (60分)		2009/02/01 15:53:09
funza ☆☆☆	授業で見たのから、見てないのまで面白い絵がそろっていた。 やっぱり、江戸ってのは文化的に栄えていたんですねー			
	1-173	173P (30分)		2009/01/27 12:45:37
BLOWIN' ☆☆☆☆	授業で扱った題材の本。沢山の絵を通して今のマンガに通じる挿絵達の見所を説いていく。見てて何故か落ち着きます。			
	1-150	150P (120分)	43-60ページ	2009/01/26 18:14:09
evolv ☆☆☆☆☆	北斎といったらタコと海女を思い出してしまった。それにしてもオーラが違う。 日本の芸術は海外のような油絵のなす、彫刻のような強さはないがそれに負けない独特の力がある。玄人にしかわからない絵画ではなく、万人にわからせることができる漫画の文化がある日本って素敵じゃないですか。			
	すべて	173P (30分)	気に入った写真の解説かな	2009/01/26 02:20:13

forex ☆☆☆☆☆	日本の漫画の原点を垣間見ることができた。 自分は中学のときの歴史の資料集で葛飾北斎や歌川広重といった名前は知っていたが、今回、この本を読んで資料集に載ってる人はやはり載るほどの功績を残してるんだなということがよくわかった。特に葛飾北斎は凄いと思った。数々の斬新な手法を生み出し、その手法を用いて描かれた挿絵の中には現代でも通用しそうなものが多く見受けられた。天才であるというのもうなずける。 しかし、私個人としては歌川広重の挿絵の方が好きである。線の繊細さが良かった。			
	1-197	197P (180分)	89-126	2009/01/05 21:25:31
heat-active ☆☆☆☆	北斎がこのような絵を描いていたと知ってびっくりした。 また、立ち読みポイントでは現在出ているマンガの原型ということがはっきりわかる。			
	12-39,44-60,64-85,90-125,132-191ページ	163P (40分)	136,137,160,161ページ	2008/12/28 22:43:12
ap ☆☆☆	正直前半の幽霊や生首は気持ち悪かった。 風や光の表現は面白いと思った。			
	12-194ページ	182P (30分)	132-150ページ	2008/12/08 20:03:53
DNA ☆☆☆	絵！絵！絵！！！			
	1-123	123P (30分)		2008/11/22 00:42:42
kate ☆☆☆	挿絵が多くてスラスラ読めた。			
	12-191	179P (50分)		2008/11/18 10:45:29
Ian ☆☆	絵が結構怖くて、日本のこういう絵の時代を感じた。			
	89-125	37P (10分)		2008/11/16 22:46:49
クマー ☆☆☆☆	日本でマンガやアニメのような表現が異様なまでに発達したのはこういう江戸時代（あるいはそれ以前）からの人びとの独特のセンスを高めてきたからなのかなぁと思った。			
	1-190	150P (15分)	90-125	2008/11/13 14:04:42
besevener ☆☆	よくわからなかった			
	1-130ページ	130P (60分)		2008/11/06 15:39:33
弟子 ☆☆☆☆	一昔まえの日本にはたくさんの妖怪がいたんだなあ 文章を絵の中に埋め込んで、文字ごと絵のように見せるような技法が面白かった。改めて北斎のすごさを認識した。 摩訶不思議なり日本国。好きな絵は、Ｐ５４、Ｐ１７８			
	all	173P (30分)	160-161	2008/11/05 13:08:30
ミニブタぽん ☆☆	電車で読むと周りの視線が気になった。 別に私は生首好きでも妖怪好きでもないですよ。			
	1-104	104P (90分)		2008/10/30 01:05:01
マシュ ☆☆	波の絵が臨場感があった。			
	130-147	18P (5分)		2008/10/25 00:23:13
snsk ☆☆☆	これのタイトルって「怖い絵」じゃないですよね？？とおもうくらい、奇妙で気持ち悪い感じの絵が多かったです。 寝る前にうとうと読もうとすると寝られなくなるので昼よんだ方がいいかも・・・			
	1-160	160P (60分)	前半	2008/10/17 23:49:23
david wright ☆☆☆	変な絵が多かった			
	1-173	173P (90分)		2008/10/17 17:51:19

ＴＯＰへ

武士の家計簿

著者名	磯田道史	発行年	2003年
出版社名	新潮新書	ページ数	203ページ
値段	680円	ISDN	978-4106100055
コメント	埃まみれの古文書から微細にあぶり出される武士家族の収入と支出。維新を乗り切ったつましい暮らし。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
柴 ☆☆☆☆	そろばんをはじく技術の大切さが伝わった。そろそろ家計簿つける習慣を身につけたい。			
	全部	202P (150分)	六章	2009/02/20 10:31:21
ベル ☆☆☆	算術が身分制度をくずしたのか。。。 赤門を作ったのが加賀藩だったことが驚きでありました。			
	1-44	44P (20分)		2009/02/20 02:26:14
uk ☆☆☆☆	猪山家について読んでみると、武士の生活は過酷であるんだなあと思ってしまう。			
	47-103	57P (40分)	第二章	2009/02/19 22:36:48
Karagounis fan ☆☆☆☆	明治維新による武士たちの今後の生き方の選択が面白かった。 武士もいろいろ考えていたんだなぁと感心した。			
	45-127,177-216	123P (90分)	204-205	2009/02/16 15:25:45
TAK ☆☆☆	いや〜、武士のお金の事情も大変だったんでしょ。			
	15-198	182P (120分)		2009/02/01 15:46:10
世界のニシテツ ☆☆☆☆	現代の価値に換算してくれてわかりやすくなっていた。やっぱ裕福に暮らしたい。			
	15-216	202P (150分)	第2章	2009/01/31 20:40:09
DNA ☆☆☆	すぐやめちゃいました。			
	1-10	10P (3分)		2009/01/27 15:32:10
上場亮 ☆☆☆☆	ほんとこの時代に生まれてよかったなあと思います。			
	1-68	68P (60分)		2009/01/26 21:49:31
・・・からお越しの ☆☆☆	あんまり読んでないのでそんな感想はありませんが。。。 とりあえず最初の本を買いに行く下りですごい臨場感を感じました。			
	1-80	88P (100分)	特になし	2009/01/13 00:11:18

反社会性人格者 ☆☆☆☆☆	現代の日本では公認会計士に銃を持たせるなんて思いもしないだろう。 江戸末期の武士が金策においていかに苦労していたか、武士の実態がわかる一冊。 海外に広く出版されれば観光客が減るかもしれない・・・。			
	1-203	203P (120分)	全部	2008/12/10 21:13:25
弟子 ☆☆☆☆	やはり江戸という時代は奇妙なのだと、この本を読んで納得した。 授業で提示されているこれ以外のさまざまな本を読んで、なんとなく日本という国は資本主義と名乗りつつも実は真の資本主義ではないんだよということは理解していたが、なんとなくそのルーツが分かった気がする。 嗚呼、日本人に生まれたからには、金儲けを純粋に楽しむ事はきっとできないなあと思った。			
	15-103	89P (30分)	88-90	2008/12/09 05:26:16
マシュ ☆☆☆☆	武士の生活がちょっと分かった。知識や能力はすごい大切だと思った。			
	全部	203P (160分)		2008/11/17 16:20:59
kate ☆☆☆	こんな家計簿が将来研究の役に立つなんて当時の人は全く考えてなかっただろう			
	1-60,80-120	100P (60分)		2008/11/10 16:39:00
david wright ☆☆☆	侍の魂が伝わった			
	1-203	203P (90分)		2008/11/02 23:51:25
非食用もやし ☆☆☆☆	地位はあるがお金がない。 名ばかり管理職の家計簿でした。			
	1-88	88P (80分)		2008/10/31 20:56:47
chor ☆☆☆☆	「体裁」を気にすることで借金にまみれる武士。 出費の内訳など暮らしぶりがわかり興味深い			
	1-140ページ	140P (90分)		2008/10/19 21:48:07

ＴＯＰへ

幕末下級武士の絵日記

著者名	大岡敏昭	発行年	2007年
出版社名	相模書房	ページ数	189ページ
値段	1,400円	ISDN	978-4782407035
コメント	34歳、独身、ヒキコモリ。なのに、なんと楽しそうな日々の語らい。 本を読んでは酒を呑み、花御堂をつくっては酒を呑み、いつも家族や友人に囲まれて。 ほのぼのテイストの絵日記が、いちどだけ突如、荒れたタッチに変わる。まるで、日々やりすごしていた心の深淵がこの夜だけはぽっかり口を開けたかのように。184ページ必見！		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
TAK ☆☆☆☆	授業で扱ったこともあり、本屋でパラパラと読んでみた。 当時の人々の生きざまが伝わってきて、とても楽しかった。 やはり、歴史の授業ですから、これくらいの本は見とかないとね。			
	10－147	138P (60分)		2009/02/16 18:50:24
ap ☆☆☆	とりあえず授業で面白いと思ったとこを読んでみた。 江戸時代の飲み会の話など、面白かった。			
	25-32,176-181	12P (10分)		2009/01/29 15:05:29
クマー ☆☆☆☆☆	江戸時代の人びとの暮らしが活き活きと描かれている。 すぐ裸になる和尚に笑った。当時の暮らしは今と比べたら大変なことも多かっただろうけど、石さんの絵を見るとなんだか楽しそうだ。ぬれ縁で友人たちと集まって話したり、けっこう頻繁に集まって食事したり、お酒を飲んでるように感じた。 それにしても彼もこんな形で後世の人に日記が読まれるとは思ってもいなかっただろうなぁ。			
	1-201	189P (15分)	31,130	2009/01/14 16:12:14
ザルカヴァ ☆☆☆	食事を中心に、イラストつきで生活を紹介という形式は、超日常的でとても身近に感じる。だが、全体的に古い。			
	23-51	29P (15分)		2009/01/13 22:55:41
forex ☆☆☆☆	江戸時代の人々の暮らしぶりが具体的に良く分かる良書であった。サブプライムローンの崩壊、格差社会とかが叫ばれる昨今、江戸時代にもリストラされたりして、友人から借金をしなくてはならない人もいて、現代人と江戸時代の人々も案外、同じ日本人として似ているのかなと思った。 当時の料理も今よりも高かったとはいえ、充実していたのだなとも思った。			
	1-74	74P (240分)	特になし	2009/01/02 21:42:00
弟子 ☆☆☆	あらかた授業中に見た絵なので新鮮さは無かったが、やっぱり文章として読むのとプレゼンを見るのとではずいぶん違うのだなあと思わされた。文章で読むと本当にただの絵日記にしか思えないが、プレゼンだとどちらかというと石さん観察記録を見ているようで、石さんという生物がどんな生態をしているのかについての発表を聞いている感じだったから。 一番好きな絵は、言わずもがな184ページ。いちばん解像度が荒い絵だが、石さんの表情にほっとさせられます。			

	150-196	47P (30分)	184	2008/12/15 01:38:19

lan ☆☆	石さんの生活が羨ましいような、そうでもないような。		
	1-18	18P (10分)	2008/11/29 21:18:43

マシュ ☆☆☆	江戸時代の人、しかも武士が現代人のようにほぼニートで不真面目で飲んべえなのがウケた		
	1-51	51P (40分)	2008/11/14 18:12:43

chor ☆☆☆	石さんってむしろ現代人に近いのかも		
	1-117ページ	117P (60分)	2008/10/31 22:50:55

snsk ☆☆☆☆	授業で石さんについての話を聞いておもしろそうだと思って読んでみた。 飲み会ばっかりやってるなあ・・・ 下級武士の絵日記とは思えない豊かな暮らしをしているように思った。		
	1-90,118-161	134P (90分)	2008/10/28 23:36:25

so ☆☆☆☆	授業でやったときより自分で読んでみたほうが石さんがどんな人か想像しやすかった。		
	1-58	58P (240分)	2008/10/21 13:10:00

TOPへ

大名屋敷の謎

著者名	安藤優一郎	発行年	2008年
出版社名	集英社新書	ページ数	187ページ
値段	700円	ISDN	978-4-08-720446-9
コメント	ニンゲンのことを糞袋って言ったりしますが。 尾張藩江戸屋敷お出入り商人のナカムラさんにとって、屋敷に住むお殿様もその家族や使用人たちも、みーんな糞袋に見えたんだろうなあ、なんて。 バッチイけれど、ほんとの話。ナカムラさんは尾張藩と交渉して、お屋敷から汲み取り権、すなわちを＊＊（←敢えて伏せ字）を汲み取りをさせていただく権利を買う。年間契約６００両。これを近郊の農民たちに小分けにする。農民たちは汲み取った＊＊の量に応じて対価を物納する。久蔵どんはを干し大根２０００本、治衛門はんは茄子３５０個といった具合。 はい、もちろん、＊＊にもランクがございます。お殿様のは上、町屋は中、裏長屋は下、野菜がすくすく育つかどうか、歴然と違いますのでね。 巨富を築いた下肥（しもごえ）ビジネス。花のお江戸の舞台裏は、こうやって回ってたんだ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
☆ ☆☆☆	現代はどこの図書館も無料だが江戸時代は有料の貸本屋がありその時代の人々が好んで利用したという話が興味深く、やはり現代は恵まれていると感じた。			
	1-58	58P (40分)		2009/02/19 23:30:23
ベル ☆☆☆☆	本題の糞に関するビジネスのところをよみました。 糞が食糧とか他の財と同じ扱いだったことに驚きです。			
	87-170	94P (120分)		2009/02/17 11:50:10
TAK ☆☆☆	失礼ながら表紙読みです。20冊に届かないもの↓			
	1	1P (1分)		2009/02/16 18:59:01
BLOWIN' ☆☆☆	江戸時代とか住みにくそ～ って感じの印象を受けました.			
	18-128ページ	111P (120分)	88-128ページ	2009/01/27 16:46:37
ザルカヴァ ☆☆☆☆	江戸時代から派遣ビジネスが存在していたとのこと。イギリスとの開戦騒動による特需など、知らなかったことてんこもり。			
	129-158	30P (20分)		2009/01/14 21:21:28
so ☆☆	読みたい気にならなそうだったから他のにいった。			
	160-162	3P (3分)		2008/12/29 14:12:03
!? ☆☆☆	昔は便をもらうためにお金を払っていたらしいからとてもびっくりした。			
	59-157	98P (120分)		2008/11/25 10:17:07
kate ☆☆☆	江戸時代からブランド志向があったとは…			

	34-73	40P (20分)		2008/11/18 16:32:55

弟子 ☆☆☆☆	歴史の方がフィクションに見えてしまうことが多々あります。 予想外に面白かったのは貸し本屋の話。存在自体は知っていたがなぜそのような商売が成立するのかが謎だった。なるほど、武士の視点からしてみれば貸し本屋はまさに隙間を埋める商売だったってわけか。			
	3-128	126P (20分)	56-	2008/11/17 22:41:19

chor ☆☆☆☆	下肥ビジネスも大名家に取り入るとなるとさすがに大変だなぁ			
	8-189ページ	181P (100分)		2008/10/31 22:53:43

自由教育 ☆☆☆	時代劇では描かれない農民、商人の暮らしが語られている。			
	35-86ページ	52P (45分)		2008/10/29 23:03:28

david wright ☆☆☆	江戸時代がわかった			
	1-187	187P (90分)		2008/10/17 17:47:49

下阪神 ☆☆	最初のほうだけ読んでみてうーんという感じだったので・・・			
	8-43	36P (30分)		2008/10/14 14:35:52

ＴＯＰへ

将軍御典医の娘が語る江戸の面影

著者名	安藤優一郎	発行年	2008年
出版社名	平凡社新書	ページ数	183ページ
値段	700円	ISDN	978-4-582-85419-0
コメント	浜御殿育ちのお姫（ひい）さま、御一新ですっかり零落して父とあばら屋で２人暮らし。日が暮れる。お姫さま、やむなく油を買いに出る。おどおどしてなかなか油屋さんに入れず、ようよう入ったあと、店に上がってしまって「どうぞ油を少々いただきとうございます」と振り袖姿でぴたっと両手をついてしまったとか。 「あんなに大きなひっくりかえり」（byお姫さま）のなかで、出世したひと、反乱したひと、節を全うしたひと、いろんな人生の形が明滅する。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
柴 ☆☆☆☆	みねさんの語り口がやさしく、そこから描かれる江戸から明治への変わり目の様子がいきいきと伝わってきました。			
	121-168	48P (20分)		2009/02/20 10:21:00
ベル ☆☆☆☆	福沢諭吉の話が非常に興味深かった。			
	1-58	58P (30分)		2009/02/20 02:19:40
鍋工房 ☆☆	どうにも興味をそそられませんでした。人物が淡々としすぎているのかも。			
	9-91	83P (50分)		2009/02/19 17:38:29
Karagounis fan ☆☆☆	度々挿入されるみねの言葉によって彼女の心情がよく伝わった。 明治維新って大変だったんだな。			
	121-187	66P (30分)	156-157	2009/02/16 15:37:11
kazuki ☆☆☆☆	福沢諭吉は松葉でつつかれても我慢するらしい。			
	48-58	11P (10分)		2009/02/16 14:32:51
弟子 ☆☆☆☆	『男の児には腹を切ること、女の子には自害の仕方を教えていますが、大ていは大人がついて介錯をしてくれますから、ただにっこり笑って死んで行けばいいのです。《中略》自分は桂川（武士）の娘だということだけを、死んでもおぼえていればいいと父が申しました。』本文115ページより これを14の娘が語るということを思い、少しだけ悲しくなった。			
	all	183P (60分)	115-	2008/12/15 01:23:01
Ian ☆☆☆	あまり普段は知れないような話が興味深かった。			
	9-58	50P (30分)		2008/12/06 17:15:01
ketume ☆	福沢諭吉のはいていた足袋には穴が空いていたらしい（笑）			
	1-58	58P (20分)	49-50	2008/11/30 23:29:20

下阪神 ☆☆☆	一見華やかに見える将軍家の裏の世界が見え隠れして興味がそそられる。 が、それまで(笑)		
	p94-187	94P (200分)	2008/11/11 15:24:21

david wright ☆☆☆	幕末の混乱がわかった		
	1-183	183P (90分)	2008/10/17 17:53:00

ＴＯＰへ

こんにゃくの中の日本史

著者名	武内孝夫	発行年	2006年
出版社名	講談社 現代新書	ページ数	199ページ
値段	700円	ISDN	978-4061498334
コメント	なぜに、こんにゃく!?　これがなかなかに侮りがたい。粉にして練って固めて……めちゃめちゃ手間のかかる、こんなミョーなものをなぜ日本人は食べようと思ったのか。幕末の常陸の国から出発したこんにゃく作りが、戦後、群馬県で大繁盛することとなった裏には、東京という都市の復興計画があった、など「へぇ～」がつぎつぎ、しらたきの如くたぐり寄せられる。 　作柄が不安定で、かつ「荒粉（あらこ）」という保存性のある形態に加工するため、生産者が投機に走り「こんにゃくはおもしれえ」となってこんにゃく産業が活性化したとか。ふうん。経済学の生きた実践例としても、しっかり読める。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
柴 ☆	こんにゃくに興味がわかなかった…。			
	3-5	3P (2分)		2009/02/20 10:38:08
uk ☆☆	こんにゃくにこれほどスポットを当てた本は見たことがない。 ただ飽きてしまいました。			
	1-60	60P (60分)		2009/02/19 22:42:38
反社会性人格者 ☆☆☆	正直、こんにゃくの歴史について興味はなかったけれど、４章の「戦争とこんにゃく」が気になって結局読んでしまった。 この章では、こんにゃくの兵器利用の実例を紹介している。 特に、P133の3行目～P11行目は強く共感できた。 こんにゃく史始まって以来唯一の見せ場であろう。			
	115-150	36P (15分)	115-150	2009/02/19 14:53:41
kazuki ☆☆	こんにゃくの神って・・・と思って読んでみたが、興味が持てなかったからやめた。			
	20-26	7P (10分)		2009/02/16 14:40:51
yatta ☆☆☆☆☆	皆さんの評価が低くて意外。こんにゃくが兵器にもつかわれていたという事実はかなりおもしろいと同時に、昔の人の知恵に敬意を表したい。こんにゃくで気球を作るとは、なかなかエコな気もする。個人的に更なるこんにゃくの発展を望む。			
	116-150	45P (30分)	118-120	2009/02/12 15:49:47
＆ＤＯ ☆	途中でこんにゃくについてこれ以上読むのは微妙だと思ってやめた			
	1-40	40P (30分)		2009/02/10 06:55:28
ri-si- ☆☆	江戸時代の金のなさだけわかります。			
	41-73	33P (15分)	41-44	2009/02/09 10:20:22

弟子 ☆☆	「要するにこんにゃくというのは人々からうまいともまずいとも言われずぬまま、少しずつ需要を減らしている日陰者のような食べ物といえる」191ページ なんだかもう、この一文でいい気がしてきた。			
	3-49,152-203	99P (40分)	6章	2009/01/27 12:47:08

宅急便 ☆☆	えらくニッチなジャンルに手を出した本ですね。 見事なまでにこんにゃくについてだけの本を書いたのはすごいと思いました。 ただこんにゃくについてだけの本を全部読むのは難しいなあと。			
	1・4章の一部	45P (30分)		2009/01/25 20:26:14

クマー ☆☆☆	こんにゃくだけで新書１冊書けることが驚きだ。どんだけこんにゃく好きなんだよ。			
	1-205	3P (3分)		2009/01/14 18:26:20

ザルカヴァ ☆☆☆	こんにゃくとは、深いんだなぁと思った。しかし、こんにゃくがおもしろいとはいえないし、こんにゃくに興味がわいたわけでもない。残念だ。			
	1-50	50P (60分)		2009/01/13 23:06:34

非食用もやし ☆☆☆	確かにこんにゃくは偉大だとは考えそうだが… ついていけない感が非常に否めない…。 ここまで熱くこんにゃくについて語られると引きますw おもしろそうなところを立ち読みするのがいいと思います。			
	全部	199P (240分)		2009/01/07 12:48:49

heat-active ☆☆☆	全体を通して読むのはなかなか厳しいので、立ち読みポイントを読むくらいでいい。全体的にこんにゃくがどのように浸透してきたかがメインテーマの本。			
	3-201ページ	199P (240分)	55-67ページ	2008/12/06 09:31:12

マシュ ☆☆	少し読んでもあまり興味がわかなかった。			
	1-31	31P (30分)		2008/11/24 01:44:20

kate ☆	すぐ飽きた。			
	20-49	30P (15分)		2008/11/18 10:46:25

ap ☆☆	「こんにゃく」と桜田門外の変や維新、攘夷思想を関連付けるのは面白いけど、内容の基本はこんにゃく普及にいかに工夫したかで、微妙でした。			
	1-73ページ	73P (180分)	55-58ページ	2008/10/23 21:03:17

ＴＯＰへ

明治の東京計画

著者名	藤森照信	発行年	2004年
出版社名	岩波現代文庫	ページ数	382ページ
値段	1,200円	ISDN	978-4006001339
コメント	「このまま崩れてしまうのだろうか」が冒頭のじつに印象深い一行。 御一新で雑草だらけの田舎に帰するはずだった江戸を煉瓦の街へ、さらに「帝都」へと転生させた先駆者たち。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
かける ☆☆	一番専攻と関係ある本のはずなのになんだか読めなかった。			
	1-	30P (10分)		2009/02/20 11:51:24
chicken-run ☆☆☆	最後の方のページだけパラパラとめくって読みました。 都市計画は芸術的感性とかが絡んでくるのでよくわかりません。			
	P.380から	35P (10分)		2009/02/19 15:19:06
takuto ☆☆☆☆	これを読んで西洋の都市の構想についてもきょうみがわきました。			
	１－１００	100P (100分)		2009/02/19 11:01:09
Karagounis fan ☆☆	ああ読みにくかった 明治になっても江戸の方法で火事を克服したのは面白い。			
	1-95	95P (60分)		2009/02/17 12:43:46
joker ☆☆☆	高校の時に読みました。ぱらぱらめくるとちょっと懐かしい。 いかにも都市計画。ただそこまで感銘は受けなかった気が。 なぜなら、私は街というよりも「ひとの笑顔をデザイン」したいと思うのです。言葉にするとチープですが、そのためにはきっと建築だけでは足りないと思いました。都市計画一辺倒もなおさらです。コミュニティには都市だけでなく、もっとソフトに人間のつながりも学びましょう。ひとに影響する経済や政治のシステムも知らなきゃですね。臨床的なことも知るべきだし、もっとシステマティックに技術が進んでいる情報系の理論を学ぶのも役に立つかも、それから認識などの仕組みも知るべきか。 と、そしたら自分の進路は社会工学になったのです。笑 ただ、こうしたひとつのアプローチにありったけの思いを詰め込める専門家のひとびともとても素敵だと思います。 ディシプリンを持たない社会工学という揶揄を撥ね飛ばし、目的に対してディシプリンを選択しデザインしていける学生を目指します。 といういつのまにか意思表明。 本を読むと、すぐ自分の中でそれを“こなして”、他のことと関連付けたりする癖があるので。あまり直接的な感想でないことも多いですが、お許しください。 内容については、目的の明確性とその実現に努力し続けた点が最も評価されるべきでしょう。ある視点から			

	意見を述べ、そのために実行していくことは大事なのだと示唆しているようです。			
	1-382	382P (120分)		2009/02/16 14:29:23

ヒトラー ☆☆☆	1年の時、都市計画について学んだので読みやすかった。			
	1-96	96P (100分)		2009/02/15 22:30:41

evolv ☆☆☆☆☆	この本の読み方は難しい。本というものは読みにくいものである。小さい文字、説明たらしい難解な文章。そんな本にたいていの読者が助けられるのが図やイラストである。この本は一見そのたぐいが実に少ない。しかし、それは目の付け所が悪いのだ。 最後からめくってみよう。近代化を目指した明治において、教科書はハイカラに左から右が正解なのである。そこにこの本のすばらしさのすべてがある。東京計画は100ページも必要のないものである。			
	390以降の地図	35P (15分)	最後だけ	2009/02/14 03:43:43

snsk ☆☆☆☆	１年ほど前に読みました（いれていいんですよね？） どのようにして再建されたかが分かる作品。お金を援助してもらい、公で決められた通りに従うのと、援助はないが自分たちで都市を立て直すのではどっちのほうがいいかという議論で納得させられた覚えが・・・（うる覚えですが・・・） 時空間に進む人にはもってこいだとおもいます。			
	1-382	382P (120分)		2009/02/10 01:45:05

funza ☆☆☆☆	気合いで全部読んだ。 感想は大変だった。 あんま覚えていないんだなぁ。 まぁ、省庁で都市計画の考えの違うってのは分かった。			
	1－382	382P (420分)		2009/01/27 12:47:48

弟子 ☆☆☆☆	例によって一番最後しか読みませんでした。これもまた濫読として評価してもいいんですよね。 一番最後の計画書野中で、特に市区改正計画の当たりは、年度を追うごとにどのように計画が変更され、どのような思想のもとに、どんな構想を考えていたのかが一目でわかって面白いです。あとは銀座の地価等高線のあたり、現代でも地価に関する指標としてよく銀座一丁目が上げられるのか納得がいきました。			
	390ページから後	35P (3分)	同じ場所	2009/01/27 12:43:54

forex ☆☆	本当の明治の初めに東京の再建を任された人が東京を田畑にあふれさせようとしたという記述を読んで「正気か？」と心の中でつぶやいてしまった。			
	1-4	4P (10分)	なし	2009/01/14 20:44:41

&ＤＯ ☆☆	東京が現在のようになるために明治の人がどのようなことを考えていたかを知ると東京の街並みを見るのも面白くなりそう			
	1-55,95-276,327-342	253P (150分)	327-342	2009/01/13 12:22:44

chor ☆☆☆	いつの時代も都市計画は政治家の争いに巻き込まれるんですね			
	1-55ページ、277-326ページ	105P (70分)		2008/10/31 22:56:57

ＴＯＰへ

建築探偵 奇想天外

著者名	藤森照信・増田彰久	発行年	1997年
出版社名	朝日文庫	ページ数	179ページ
値段	800円	ISDN	4-02-261181-2
コメント	ニッポン全国洋館めぐり。 建てた無名の大工さんたちもエラい。 撮った写真家の増田さんもスゴい。 でも、かるがるとことの本質を衝いてしまう藤森さんの筆にぞっこんです。 おもしろうて、ときに哀しく。「自分でも好きだったにちがいない日本の町を焼き払う計画に加わった」チェコスロバキアの建築家の心中を推し量ったくだり（59ページ）が泣けました。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ちゃんゆう ☆☆☆	建築のことをしらなくても、常に日常の生活の中で建物と接しているはず。そんな建物のひとつひとつに歴史があることに気づかされます。そしていつもながらユーモアあふれるその語り口には、よみながらふきだすことも・・・幅広い知識をもちながらも語りすぎず、余韻をのこした解説になっていて、「もっと語ってよ。」と思うことも			
	全部	179P (120分)		2009/02/20 20:40:11
so ☆☆☆	最初のほう読んで細くてあまり興味がわかなかった。写真だけ見て楽しんだかんじ。			
	写真と38-43	80P (10分)		2009/02/19 21:17:52
かける ☆☆☆	田園調布の意外な歴史がわかった。 いまは結局テーマパーク的駅舎になっています。 当時のはやりかもしれないが、写真の色の作り方が少しきついのが残念。			
	写真と文章とびとび	80P (30分)	p.153-157	2009/02/19 16:05:58
ベル ☆☆☆☆	建築家目線というわけでもなく、素人にもわかりやすい文章で納得しながら読めた。 知ってる建物がいくつか取り上げられていて熟読した。			
	1-113	113P (150分)		2009/02/17 11:34:30
ap ☆☆☆☆	それぞれの建物に短い話がついてて、気楽に読めて楽しかった。 もう少し建物が見たい。			
	8-186	178P (30分)		2009/01/29 14:47:15
sweets ☆☆☆	ぱらぱらと読んだだけ。 紙が厚く捲りにくい。 物理的な意味での「読みやすさ」も大事だと思う。			
	all	179P (60分)		2009/01/27 15:22:08
besevener ☆☆☆☆	日銀本店に行ってみたいと思った。			
	1-191	191P (60分)		2009/01/17 12:55:06

柴 ☆☆☆☆☆	建築家の言ってることはあまり好きじゃないが、この本は普通に楽しめた。いろいろ納得させられるし建物ひとつひとつの物語が面白い。ただ洋館は個人的には好きじゃないかもと思った。			
	8-188	179P (90分)	国会議事堂	2008/12/04 22:00:59

david wright ☆☆☆	泣けた			
	1-30	30P (10分)		2008/11/24 13:28:09

弟子 ☆☆☆	ここまで写真が多いと、写真と文章のどっちを読んでいいのかわからなくなって疲れました。 私はいまいち建築には疎いので、何がどのように本になるほどまでに面白いのかが理解できずに読んでいました。ただ途中のレンガの壁の写真だけはなぜか圧巻させられました。こいつだけは建築なんぞ知らなくても歴史を訴えてくるからでしょうか。			
	7-74	68P (10分)	レンガの写真	2008/11/17 22:09:40

たくや ☆☆☆	建築探偵というタイトルと表紙の感じほど謎って感じではなかった 今ある建築を建築史を学んだ著者が、それらを建てた建築家の思いなどを推測している本 でも取り扱われている建物はどれも面白そうで、１つの建物に対して４、５枚くらいしか写真がないので、実際に行ってみたいと思わされた			
	8-17,27-61,66-191	168P (60分)		2008/11/14 14:07:01

宅急便 ☆☆☆	写真を眺めただけ。 おおむね日本にある建物のようだが、とても日本の風景とは思えない洋館の写真があったりする。 単体だと魅かれるが、ここに日本の文字や日本人はあわないだろう。というより実際そういったものが映っている写真があって、見事に浮いていた。残念だ。			
	写真のページ	50P (5分)		2008/10/27 22:30:21

ＴＯＰへ

幻の漂泊民・サンカ

著者名	沖浦和光	発行年	2004年
出版社名	文春文庫	ページ数	364ページ
値段	657円	ISDN	4-16-767926-4
コメント	サンカ。初耳ですよね、もちろん。山に暮らし川に漁して、低地の農民たちとは別に暮らした人々。 社会の底辺の茫洋たる暗がりを学者の目で、ていねいに追ってゆきます。とりわけ、サンカ研究の草分けである三角寛が、いかに興味本位のずさんな考証で猟奇的な関心を煽ってきたかを痛烈に批判。 題材は興味深いのだけれど、論文スタイルなので、とっつきにくい。「私のこまぁじぶんの、苦労話をせえいうことかのう」という光代ばあちゃんの昔語り（331ページ）あたりが入りやすい入り口でしょう。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
chor ☆☆☆☆	じっくり時間をかけて読みたい本。 僕はサンカは実在してほしいです			
	12-234	222P (150分)		2009/02/06 21:53:53
heat-active ☆☆☆	読みづらい本ではあったが、自分がどれほど恵まれていて、甘い人間かがよくわかった。			
	316-345	30P (15分)		2009/01/31 12:25:58
&DO ☆	俺の得意じゃないタイプの本　以上			
	1 - 58	58P (30分)		2009/01/20 12:51:01
弟子 ☆☆	先入観のせいでしょうか。柳田國男の名前を見ただけで「サンカ」が妖怪にしか思えなくなりました。 なんだか哲学の教科書を読んでいる気がした。「読み続ければきっと理解できるんだろうけれど、あまりに専門外すぎてそこまでの理解への気力が持たない」と言う意味で。			
	11-34	24P (10分)		2008/11/17 22:14:31
自由教育 ☆☆☆	存在したのかはっきりしない謎の民族を追う学者たちの長年に及ぶ調査、議論からは、文学者の熱意が伝わってきた。			
	120-202ページ	83P (60分)		2008/11/02 14:00:53

TOPへ

小松崎茂 昭和の東京

著者名	根本圭助　編	発行年	2005年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	205ページ
値段	1,000円	ISDN	978-4480420992
コメント	看板好きだったんですね。街並みを写しつつ、つい看板に目が行ったのは同業者意識か？　ていねいなデッサンに導かれての浅草や銀座のレトロ散歩。全編ほとんど絵。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
鍋工房 ☆☆☆	ノスタルジーは好きではないです。それが甘ければ甘いほど。 ですが、そういった自然感情を排除するのも好きではないです。難しいですね。 ただ少し、変化が早すぎたのかもしれません。 環境の変化に精神が追いついていなかったように感じます。 僕らが今見ている景色を何十年後かに画像や映像で見たとき、どのような気持ちになるだろうかと考えながら読みました。			
	全部	205P (30分)		2009/02/20 04:56:56
uk ☆☆☆	なんだか心が懐かしい感じになる。 そんな絵であった。			
	1-110	110P (30分)		2009/02/19 22:48:06
ベル ☆☆☆☆	ぱらぱらぱらと。個人的にはすきでした。 当時の地方の写真を見たことがあるが、このころから都市と地方の差が広がっていったんだろうなと思った。			
	1-226	226P (120分)		2009/02/17 11:28:35
前田 ☆☆☆☆	絵だけなのでさくさく読めて助かった 若干今レトロブームでいいとは思うが、懐かしむだけじゃなくそれをみて今にどう活かすかってところが大切なんじゃないかなと感じた まぁそれでもやっぱりあのころの絵や写真などはみてるだけでもおもしろいけど			
	1-170	170P (20分)		2009/02/16 21:17:15
Karagounis fan ☆☆☆	銀座の町並みが好きだった。当時の人にとってのモダンみたいな。 最後の写真と見比べながら見ると面白い。			
	27-226	200P (50分)	145-160	2009/02/16 15:00:15
＆ＤＯ ☆☆☆	昔の雰囲気の絵			
	1-100	100P (15分)		2009/02/10 06:58:10
ri-si- ☆☆☆	ほとんどが絵です。自分はそんなに好きじゃないです。			
	1-239	239P (20分)	絵	2009/02/09 10:01:39

monkiti ☆☆☆☆	とにかく絵の書き込み具合がやばかった。歴史というか、流れを感じた。			
	19-158	140P (10分)		2009/02/08 03:26:08

sweets ☆☆☆	絵本の用な物。 田舎者の自分は結構感心した。			
	all	205P (20分)		2009/01/27 15:30:11

DNA ☆☆☆	ささっと読みました。			
	1-21	21P (5分)		2009/01/27 15:08:55

ザルカヴァ ☆☆☆	完全に絵本ですね。千住のおばけえんとつや、千住大橋付近など、地元です。親しみを感じました。			
	全部	205P (20分)		2009/01/21 12:52:11

弟子 ☆☆☆☆	古い町並みは、現代的な街並みに負けず劣らず、すばらしいものである。 しかし、それは同時に評価してはならないものであると思う。同じ土俵上で東西二極に分けて争われるべきではないと、私は思う。だからこそ、この本の最後のように、現代の街並みの中に古い歴史を探ろうという試みはあまり好きではない。それは過ぎ去った過去として幻想の中にうずもれているからこそ、美しいのではと考えてみる。 興味深かったのは文字の向き。もちろん現代とは違い右から左かと思いきや、一部の外国語は現代と同じ左から右の向きであるのにはなんでだろな。でもなんとなく、日本人のいい加減さを見たような気がした。			
	all	229P (20分)	p35	2009/01/19 01:46:44

クマー ☆☆☆☆☆	後ろに載ってる写真よりも、絵の方が当時の空気を写し取っているように感じた。不思議。 昭和の東京を絵で鑑賞できてページ数も稼げて一石二鳥の一冊。			
	1-239	205P (5分)	145-214	2009/01/14 16:42:20

非食用もやし ☆☆☆	読んだというより、見たが正しい表現。			
	全部	205P (50分)		2009/01/07 12:56:42

yatta ☆☆☆☆	わたしは昔の街並みよりも今の都心の街並みのほうが好きですけどね。			
	すべて	239P (50分)	192-198	2008/12/30 00:58:32

snsk ☆☆☆	たくさん絵が載っていたので、昭和の様子がよくわかりました。 浅草とかはあんまり変わってない気がするなあ。			
	1-239	239P (20分)		2008/12/03 16:37:44

マシュ ☆☆	昔の浅草の町並みの雰囲気は良いなと思った。			
	全部	226P (30分)		2008/11/26 02:22:24

Ian ☆☆	とてもきれいな絵だった。文字までしっかり書いてあった。			
	1-226	226P (20分)		2008/11/24 21:35:16

ミニブタぽん ☆☆☆	絵でした			
	1-226	226P (20分)		2008/11/19 18:50:49

kate ☆☆	昭和の街並みがよくわかるくらい綺麗な挿絵だった。			
	1-239	239P (30分)		2008/11/18 16:35:13

宅急便 ☆☆☆	こういったちょっと昔の雰囲気はどうしてこんなに魅力的なのだろう。			
	目に入ったページ	100P (10分)		2008/11/15 09:20:23

ap ☆☆☆	挿絵画家だけあって、綺麗な絵でした。			
	1-226ページ	226P (60分)		2008/11/12 21:34:32

takuto ☆☆☆	大量に描かれている絵により昭和の東京の様子が伝わってきた。 ただ読みごたえはなかった。			
	1－240	240P (30分)		2008/11/11 12:12:20

david wright ☆☆☆	絵だった			
	1-50	50P (10分)		2008/11/11 00:25:59

so	絵から昭和の東京が感じられたし、小松崎茂がどういう気持ちで書いていたのかもわかって面白かった。

☆☆☆☆	全部	240P (60分)	2008/10/21 13:06:56

柴 ☆☆☆	昔の賑わいが絵に表れています。ちょっと寂しい気持ちに。 絵ばっかです。		
	1-226	226P (10分)	2008/10/20 21:36:46

ＴＯＰへ